

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	茅ヶ崎高等学校	課程・学科 教育部門・学部	定時制・普通科
-----	---------	------------------	---------

1 学校のミッション

定時制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、社会の一員として必要な社会的規範意識の醸成を図るとともに、生徒の進路希望の実現に向けて取り組んできたが、今後はさらに、すべての教科等において、学びなおしや生徒がお互いに学びあう学習活動を取り入れるなど、知識・技能の習得のみならず、それらを活用する力を育む魅力ある授業を展開し、生徒の主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえた適切な支援を行い、卒業と進路希望の実現に向けたきめ細かい指導に取り組む。

2 学校教育目標

- 生徒一人ひとりの能力やニーズに応じた教育や必要な支援を展開し、主体的な学びを通して基礎学力の確実な定着を図る。
- 社会の一員として必要な社会的規範意識の醸成を図り、豊かな人間性と社会性を育む。
- 正しい職業観や勤労観を育成し、自ら進路や自己実現に向けて取り組む態度を養う。
- 学校関係者や地域との連携を深め、信頼され開かれた学校づくりを推進する。

3 計画策定時点での課題

- 療育手帳を所有している生徒や発達障害の診断を受けている生徒など、通常の高校教育に加え、特性に応じた支援を必要とする生徒が増えているが、校内の支援体制が必ずしも十分であるとは言えない。
- 高校で学ぶ意義を見出すことができず、進級や卒業をあきらめ退学する生徒の割合が多い。
- 45分の授業時間をしっかり過ごすことができず、校内にいても遅刻をして入室したり、途中で教室を出て行ってしまう生徒が多数いる。
- 卒業をしても進学や就職をしない生徒がいる。
- 部活動や行事に参加せず、高校生活を過ごす中で自己肯定感を持っていない生徒が多い。
- 友人関係を適切に構築できず、些細なことでトラブルを生じ、登校できなくなってしまう生徒がいる。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの能力やニーズを踏まえながら、生徒の「生きる力」を育む教育課程の編成に取り組む。 基礎学力の確実な定着を図るために、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学び直し」の視点に立った科目の設置や学校設定科目の配置についての検討、及び年間指導計画の再検討を行う。 授業研究会や日頃の情報交換などを通じて、ICTを活用しながら主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教材や授業展開の研究を行う。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立と、社会的規範意識の醸成を図り、社会性を養う。 自己肯定感、自己有用感を高める。 個性や多様性を尊重し合える豊かな心を育成する。 社会資源の活用を学び生きる力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒との人間関係を大切に、信頼関係をつくり、その後の指導につなげる。 行事、部活動を活性化する。 生徒への支援マニュアルを作り、支援体制を整える。 教職員の生徒支援にかかわる研修を充実させる。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動を通じて、生徒の基礎的・汎用的能力を段階的に育成し、生徒一人ひとりが自己の生き方、あり方を考え、主体的に希望の進路を実現できるよう支援体制を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の企業や事業所との連携を深め、就職に係る講演会を実施して、生徒に勤労観や職業観を身に付けさせる。 進学を目指す生徒に対しては個別の補習や講習を充実させ、進路実現を支援する。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が持続可能な社会の担い手として活躍できるよう、学校を中心に家庭と地域が一体となって協働できる具体的な方策を検討・導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関との連携を深め、生徒の人間関係形成能力の向上を図る。 学校外における体験的な学習活動への参加を促す。 P T A活動をさらに充実させる。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 災害や感染症まん延など非常時においても、常に安心安全で快適に学べる学習環境を維持する。 職員が一人ひとりの生徒に向き合える環境を整え、働き方改革をより促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に夜間の防災体制について改善をはかる。 災害時等生徒が登校できない状況が発生した場合の校内体制の構築を考える。 事故なく職員が業務にあたることのできるような、働き方について工夫をする。

